

ACTION!

学 ぶ こ と は、動 く こ と

福井工業大学 スポーツ健康科学部 野口雄慶 准教授

スポーツを仕事にしたい若い人たちが、 地元で就職出来るように。仕事を創り出せるように。

スポーツを軸に定着促進
「今までは、スポーツを仕事にしたいと希望する学生は県外へ出ていった。これからは、そのような学生たちが地元でスポーツに関連した仕事に就けるようにしたい。将来的には自分で仕事を考え出せるようにしたいんです」

そう語るのは、福井工業大学スポーツ健康科学部の野口雄慶准教授。2015年の同学部新設を機に、学部として福井県の定着促進事業に参加。スポーツを軸にして若者の定着を目指す「FUKUIスポーツ活性化プロジェクト」と名付けた事業を立ち上げ、昨年度から取り組み始めた。

若者定着のためには、「本学の人的・物的資源を活用し、スポーツを活性化」「スポーツにかかわる事業や、ビジネスが新しく展開される」「スポーツの専門家の需要が高まる」という3つの要素がうまく循環する、いいサイクルを実現させたいと考えている。

学生をどんどん現場へ

プロジェクトでは、学生たちを積極的にスポーツの現場に参加させている。学部にはまだ1、2年生しかいないが、教員・スポーツ関連産業などを志望する学生が多いという。

「早くから現場に出て地域と触れ合うことで、社会性を身につけ、また活動を通して様々な福井の地域を訪れることで、福井のことを深く知り、愛着を持ち定着してくれたらという思いがあります。これまで卒業していった本学の学生の多くは、学業とクラブ活動中心の生活なので、大学周辺とクラブの練習場しか知らないことも少なくなかった。でもどんだん地域に出ておけば、もつと福井のことを深く知り、愛着が生まれてきます。学生時代の経験は一生モノなので、たとえ福井で就職しなくても、地域とのつながりは残るはず」

地域のスポーツイベントに参加し、改善点や新しい提案を考えるといった、授業時間に縛ら

れない勉強も、単位として認めていく予定だ。

ビジネスチャンスを作る

学生たちは、サッカーチーム「サウルコス福井」や「あわら温泉カヌーフェスティバル」のボランティアスタッフなどを体験。今年度は、県立盲学校の生徒を対象にしたカヌー教室の指導にも参加した。

「指導者としての貴重な体験をさせてもらいました。地元の先生との交流もあり、教員志望の学生にはいい刺激になったと思います」

他にも、スポーツイベント参加時には、主に現場の運営スタッフの仕事を経験している。

「選手としての経験しかない学生が多いんです。スポーツを仕事にしていけるのであれば、大変な面も含めて、スタッフの仕事がスポーツを支えていることを知ってもらいたい」

「サウルコス福井」の観客を増やすためのアイデアを出して、実行する経験もした。

「学生には、いろんな現場を体験して、自分でビジネスのアイデアを出せるようになって欲しい。それが、プロジェクトが目指すスポーツの好循環につながります。4年後の東京五輪では、ビジネスチャンスを得る学生もいるんじゃないかと考えています」

福井県には、県外に知られていないアウトドアスポーツに絶好の場がまだまだある。このような点に着目していけば、新たなビジネスチャンスに繋がる可能性もある。

「スポーツで盛り上がる余地が大いにあると思います」

将来はそこに、巣立った学生たちの姿があつてほしい。



サッカー教室でのボランティア活動

広 告

 **福井工業大学**
Fukui University of Technology

〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号 [フリーコール]0120-291-780 [ホームページ]http://www.fukui-ut.ac.jp/

